



# こども感染症情報

16.11.9  
週報第 613号

## ☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第44週(10/31~11/6) (43週)	
	発生数(人)	前週との比較
インフルエンザ	5 (10)	↓
RSウイルス感染症	28 (22)	↑
感染性胃腸炎	16 (9)	↑
溶連菌咽頭炎	16 (15)	↑
百日咳	0 (0)	→
水痘	3 (1)	↑
手足口病	5 (2)	↑
ヘルパンギーナ	0 (2)	↓
突発性発疹	0 (1)	↓

(参考) 秋田県の状況 第43週(10/24~10/30)
<全県の発生状況>
1位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より23%増加)
2位: RSウイルス感染症 (全県で前週より17%減少)
3位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より76%増加)
4位: インフルエンザ
5位: ヘルパンギーナ
県内 警報・注意報 なし

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報 (11/7)

### <RSウイルス感染症>

横手地域で増加しています。 **症状** : 咳や鼻汁、発熱 など

★1歳未満の乳児では、中耳炎の合併や肺炎・気管支炎に進行して重症化する例も少なくありません。

★何度も感染しますが、年長児や成人では軽いかぜ程度で済むことが多いようです。軽く済む分、対策を怠ると、周囲に感染を拡げてしまう可能性もありますので、手洗いや咳エチケットなど毎日の対策を行っていきましょう。

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	水痘	流行性耳下腺炎	溶連菌咽頭炎	手足口病	その他
施設(数)	ザ	炎	マ	ズ	マ	炎	病	
保育所・園(35)			1	1		2		15
小学校(22)	2		1	1		4		
中学校(8)								
高校(7)	1							
特別支援学校								

感染症情報収集システムより(人)